授業科目　高次脳機能障害学

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	言語
今　村　　徹	開講時期	前期	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】
ヒトの脳は一次的な運動・感覚機能だけではなく，日常生活や社会生活をおくるために必要な記憶，注意，計算，思考，判断，学習などの機能を担っている．これらを認知機能（または高次機能）と総称する．本科目では成人の認知機能障害の診断と評価を学ぶ．現在の臨床現場では，急性期，慢性期を問わず驚くほど多数の患者が，さまざまな認知機能障害を診断・評価されないまま，不十分な治療・看護・介護・療養環境に甘んじている．認知機能障害を診断・評価できる人材のニーズは大きく，言語聴覚士も認知機能障害全般のコンサルテーションを受ける専門職（神経心理士）としての役割を求められる．本科目はそのような臨床現場のニーズに応えるための入門講座である．

【学習目標】
１代表的な認知機能障害の症候学とその機序を理解する．
２患者の認知機能障害を診察して症候群として把握できる．
３把握した認知機能障害を適切な検査・テストで描出できる．
４患者の認知機能障害に関する情報をまとめ，提示することができる．

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	（A）学習の主題 ・以下の主題をとりあげる どの主題においても診察→検査→解釈という認知機能障害の評価の流れを重視する． １）神経心理学の方法論 ２）健忘症候群 ３）前頭葉症候群と遂行機能障害 ４）右半球症候群 ５）失語・失行・失認 （B）学習方法 各主題について以下の形式のいずれか，または両方の形式の授業を組み合わせて行う １）学生の小グループによる課題発表（ゼミ形式）：計12回 ２）教員による講義：合計３回		担当教員：今村　徹

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	神経心理学入門	山鳥重	医学書院	1985・6,400円
	脳損傷の理解：神経心理学的アプローチ	鈴木匡子訳	MEDSI	1993・5,800円
参考書	脳からみた心	山鳥重	日本放送出版協会	1985・970円
	事例でみる神経心理学的リハビリテーション	鎌倉ら訳	三輪書店	2003・5,600円
	高次脳機能障害学	石合純夫	医歯薬出版	2003・4,200円
その他の資料				

【評価方法】
課題発表に合格した学生にレポートを課す．提出されたレポートの評価点を最終の成績評価とする．

【履修上の留意点】